

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成28年6月16日 (2016.6.16)

【公開番号】特開2015-183892(P2015-183892A)

【公開日】平成27年10月22日 (2015.10.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-065

【出願番号】特願2014-59127(P2014-59127)

【国際特許分類】

F 2 3 R 3/28 (2006.01)

F 0 2 C 9/00 (2006.01)

F 2 3 R 3/26 (2006.01)

F 2 3 R 3/16 (2006.01)

F 0 2 C 7/22 (2006.01)

F 2 3 R 3/30 (2006.01)

【 F I 】

F 2 3 R 3/28 B

F 0 2 C 9/00 B

F 2 3 R 3/26 B

F 2 3 R 3/28 D

F 2 3 R 3/16

F 0 2 C 7/22 C

F 2 3 R 3/30

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月18日 (2016.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

燃料を噴射する燃焼器のノズルであって、
先端部に向けてその外径が漸次縮小する円錐状をなし、
前記円錐状の先端から空気を噴射させる空気噴射部を備えるノズル。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のノズルを先端部に備え燃料を噴射する燃料ノズルを有するバーナ。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のバーナを備える燃焼器であって、
前記ノズルを外周側から覆うと共に、前記ノズルとの間に空気流路を形成する筒状部材と、
前記空気流路に設けられ、前記空気流路を流れる空気に圧力損失を生じさせる圧力損失部と、を備え、
前記ノズルは、
前記圧力損失部よりも上流側の外周面から空気を取り入れる空気取入部と、
前記空気取入部から取り入れた空気を前記空気噴射部まで導く流路を形成する流路形成部と、
を備える燃焼器。

【請求項 4】

前記空気取入部は、前記ノズルの外周面に複数設けられ、
前記流路形成部は、複数の前記空気取入部から取り入れた空気を、前記空気噴射部の上流側で合流させる合流部を備える請求項３に記載の燃焼器。

【請求項５】

前記流路形成部は、断面円環状の流路を形成する請求項３に記載の燃焼器。

【請求項６】

前記流路形成部は、同心円上に配される複数の流路を形成する請求項３に記載の燃焼器。

【請求項７】

請求項３から５の何れか一項に記載の燃焼器と、
前記燃焼器から送り出された燃焼ガスにより回転するロータを備えたタービン本体と、
を備えるガスタービン。

【請求項８】

請求項１に記載のノズルを備える燃焼器と、
前記燃焼器から送り出された燃焼ガスにより回転するロータを備えたタービン本体と、
前記タービン本体の車室内の空気を前記空気噴射部に供給する車室空気供給部と、
前記車室空気供給部における前記車室から前記空気噴射部への前記空気の供給を制御する制御弁と、
前記燃焼器における逆火の発生を検出する検出部と、
前記検出部の検出結果に基づいて前記制御弁を開閉制御する制御装置と、
を備えるガスタービンシステム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

この発明の第一態様において、ノズルは、燃料を噴射する燃焼器のノズルであって、先端部に向けてその外径が漸次縮小する円錐状をなし、前記円錐状の先端から空気を噴射させる空気噴射部を備える。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

この発明の第二態様において、バーナは、上記のノズルを先端部に備え燃料を噴射する燃料ノズルを有する。